

## 「サングヴォル郡中央病院小児感染症科病棟建設計画」引渡し式

5月18日、宮下大使は、首都ドゥシャンベ市から東に約200 kmにあるサングヴォル郡中央病院を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のスキームで実施された小児感染症科病棟建設プロジェクトの引渡し式に出席したところ、概要は以下のとおりです。

- 1 宮下大使は挨拶で、「コミュニティの財産である子どもたちを守ることは重要であり、今回、子どもの生命を守る小児感染症科病棟が完成したことを大変嬉しく思います。この病院で治療を受け、元気になった子どもたちの笑顔が見られる日を楽しみにしています」と述べました。
- 2 総額90,802米ドルの本プロジェクトは、サングヴォル郡の医療環境改善を目的として、我が国政府が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のスキームで資金を供与し、サングヴォル郡により実施されたものです。完成した病棟には、8つの病室や診察室等が整備され、年間約350人の小児入院患者の受入れ、年間約750人の子供に対する診察が可能となります。
- 3 引渡し式には被供与団体代表であるダヴラトゾダ・サングヴォル郡長をはじめ、病院関係者など大勢の地域住民が参席しました。ダヴラトゾダ郡長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。



花束で歓迎される宮下大使



テープカットの様子



病棟内を視察する宮下大使



小児感染症病棟前での記念撮影